

Contents

第5土曜特集

小児医療の最先端

325 はじめに 五十嵐 隆

基礎・基盤編

- 328 次世代シーケンサーを用いたIRUD事業の成果と将来展望 鈴木寿人・小崎健次郎
- 333 わが国の先天異常発生動向 倉澤健太郎
- 339 AIを活用した身体的特徴等からの希少疾患の診断支援 要 匡
- 345 小児疾患患者からのiPS細胞を用いた病態モデルの開発 阿久津英憲・他
- 351 小児を対象とする遺伝子治療の進歩と課題 小野寺雅史
- 360 小児を対象とする再生医療の進歩と課題 梅澤明弘
- 365 小児医療・保健の充実に向けて重要となる“実装研究”
——科学的根拠と実践のギャップを埋める新たな研究方法の紹介 竹原健二・青木 藍
- 371 電子カルテへの音声自動入力システムの開発——小児科医の立場から 賀藤 均

臨床編

- 378 新生児マススクリーニングによる原発性免疫不全症の診断と治療 谷田けい・今井耕輔
- 385 新生児集中治療における精緻・迅速なゲノム診断 武内俊樹
- 391 新生児期発症のミトコンドリア病 村山 圭
- 399 低体重児動脈管開存に対するカテーテル治療 杉山 央
- 405 Biopsychosocialで考える小児のCOVID-19 宮入 烈
- 412 先天性サイトメガロウイルス感染症の診断の進歩と治療 岡 明
- 416 安全を担保した小児の鎮静 久我修二
- 422 小児の人工呼吸管理とECMO 川野邊 宥・川崎達也
- 429 小児がんに対するCAR-T細胞療法 柳生茂希・中沢洋三

435	造血細胞移植後の日和見感染症に対する 複数ウイルス特異的 T 細胞療法	神谷尚宏・森尾友宏
441	小児肺高血圧症診療の進歩と課題	福島裕之
449	血液脳関門通過型酵素治療法 ——脳を標的としたムコ多糖症II型に対する新たな治療戦略	瀬戸俊之
456	小児消化器疾患の診断・治療に用いる消化器内視鏡	新井勝大
463	小児難治性てんかん治療の進歩	中川栄二
471	小児ステロイド感受性ネフローゼ症候群の治療法と病因論Update	飯島一誠
477	小児の輸液療法再考	金子一成
485	小児肝移植の進歩	笠原群生
493	医療的ケア児と小児の在宅医療	前田浩利
499	小児の医療型短期入所施設の設立と運営 ——医療的ケア児者と家族にとっての“もうひとつのわが家”	内多勝康
506	気づかれにくい発達障害であるディスレクシアへの支援 —— T 式ひらがな音読支援の理論と実際	小枝達也
511	3歳児健診視覚検査への屈折検査の導入	仁科幸子

心理社会医学編

520	日常診療におけるサイコソーシャルアプローチ	阪下和美・秋山千枝子
527	小児科医のアドボカシー活動を発展させるために	余谷暢之
533	エコチル調査の成果と今後の展望	上島通浩・他
539	健やか親子21——21世紀の日本における母子保健推進のための国民運動	小倉加恵子
547	難病・小児慢性特定疾病対策	山縣然太郎
551	慢性疾病のある子どもたちへの自立支援 ——早期介入と多職種・多領域・専門職の連携	檜垣高史
561	わが国のチャイルド・デス・レビュー ——予防のための子どもの死亡検証	沼口 敦
567	成育基本法とこども家庭庁が目指すもの	自見はなこ
575	次号の特集予告	



サイドメモ

- 333 クリアリングハウス国際モニタリングセンター日本支部
- 355 レンチウイルスベクターによる遺伝子治療
- 372 小児医療にAIは何をもたらすか？
- 391 ミトコンドリア病における国際連携
- 405 小児COVID-19関連多系統炎症性症候群(MIS-C/PIMS)
- 417 わが国と海外の小児鎮静に関する提言とガイドラインの変遷
- 431 サイトカイン放出症候群(CRS)と免疫細胞介在性神経毒性(ICANS)
- 436 微生物特異的T細胞療法の展望
- 441 小児肺高血圧症の定義の変更
- 449 酵素製剤が届きにくい臓器, 届きやすい臓器
- 450 ライソゾーム酵素の挙動における発見の歴史
- 451 ライソゾーム病研究におけるモデルマウスの重要性
- 463 2017年国際抗てんかん連盟(ILAE)てんかん新分類の用語解説
- 474 疾患感受性遺伝子とゲノムワイド関連解析(GWAS)
- 479 経口補水療法(ORT)
- 480 有効浸透圧(張度)と浸透圧
- 486 脳死分割肝移植
- 529 Advocacy Guide
- 536 バイオモニタリング(biomonitoring)
- 544 ソーシャルキャピタルとは
- 567 “こども家庭庁”の表記
- 574 政府与党一体の原則